

「朝まで機青連」～語ろう・語らせよう・語り合おう～

8月20日 於 ホテル西山

<(株)高畑工作室 高畑 國正>

まだ朝ではありませんが、朝まで機青連に参加してきました。二部構成で第一部はグループ形式でしたが、少人数での議論はやはり中身が濃いですね。2時間ほどありましたが全然時間が足りないくらいに感じました。私のグループでは主に衣川社長の考え方、経験談を聞かせてもらいましたが、今思えば聞き手になり過ぎた、もっと自分の考え、想いをぶつけ、それに対する意見を語ってもらうべきだったと思います。第2部は全体で輪になってのディスカッションでした。内容はともかく、ここでもやはり感じるのが当然自分も含め、自ら挙手して発言する人が少なすぎると 思います。人の意見を聞いていて自分が何かを感じる、考えることはあるはずでその時にぱっと自分の意見を言えないのは何か足りないものがある、それが 自分自身が作り出してしまっている壁の一つになっているのだと思います。まずは自分をアピールする、自分をさらけ出すことを勉強していきたい、今の 目標としております。

<有限会社林製作所 林 克己>

おはようございます。『朝まで機青連』に参加された皆様、大変お疲れ様でした。初めて参加させていただきましたが、このように同じ様な業種の経営者もしくは後継者が、これだけの人数、一所に顔を揃えて長時間突っ込んだ話をしているということが大変な驚きでした。ただ、ひとつのテーマに関しても様々な意見、考えがあり、更にそのテーマ自体も様々ある中で、やはり大人数で“突っ込んだ”話をするには時間が足りないと感じました。それとも、ひざを突き合わせて議論するには少し人数が多いのでしょうか？高畑さんも聞き手になりすぎたと感じていらっしゃるようですが、私も同様です。ただ、私については今の仕事に対する考え方の主たる部分で未だ未発達な部分もあり、皆様方の意見や考えを聞いて、自分の考えを構築している途中でもあります。それはそれなりに意見を出せばよいのですが、今のところ皆さんの話題に考えながらついてゆくのでも精一杯かもしれません。大変歯がゆい思いをしております。で、こんな私が今回の『朝まで機青連』に参加して、こんな風にしても面白いし、もっと突っ込んだ話ができるかもと、漠然と思ったことがありますので以下に。①第一部のグループディスカッションからテーマを絞って話を進める。②2、3日泊りがけでいくつかのテーマをトコトコ議論する。③グループディスカッションをメインに据えて、メンバーを入れ替えていく。(シャッフル)④6グループあるならテーマを6つ作り、テーブルごとにテーマを振って、テーブルを移動して24時間(?)のうちに全員がすべてのテーブルを回って 6つの話題すべてを議論し、最後に全体で総括→追加討論する。いやあ、トコトコやろうとすると、時間と体力勝負ですね。おそらくテーブルを回って話をしていると、同じ話(自分の考え、信念的なもの?)を何度も違う人にすることになるでしょうから、6テーブル回っているうちに、信念が変わることも考えられますね。これぞまさに心の鍛錬かと...。いや、ここまでのドロドロをしたくない人もいらっしゃるかと思いますが、私自身は結構ドロドロの議論は好きなもので。やっぱり、「話し合い」「意見の出し合い」ではなくて「議論」をしないと、自分の心の奥底にあるものまでは出てこないのかもしれないと感じています。思いつくままに書いてしまいましたが、要はもっと色々な人と、膝を突き合わせて「議論」がしたかったということです。自分自身の反省と次回の会への想いを込めて...。今回の『朝まで機青連』参加してよかったです。新たな考え方に会うこともできましたし、新たな想いに会うこともできました。そして何より、新たな“人”に出会うことができました。皆様に感謝です。最後になりましたが、河原さん、幹事の皆さん、段取り等大変お疲れ様でした。ホテル西山さんにも大変感謝です。ありがとうございました。